

**総社市市民提案型事業**

# **地域の絆づくり推進事業**

**令和元年度の活動結果と  
これまでの活動成果について**

**西郡地区の絆を推進する会**

**西郡自治会、山手公民館西郡分館**

# 西郡地区の現状について

山手地区の人口の推移



西郡地区は人口が急増

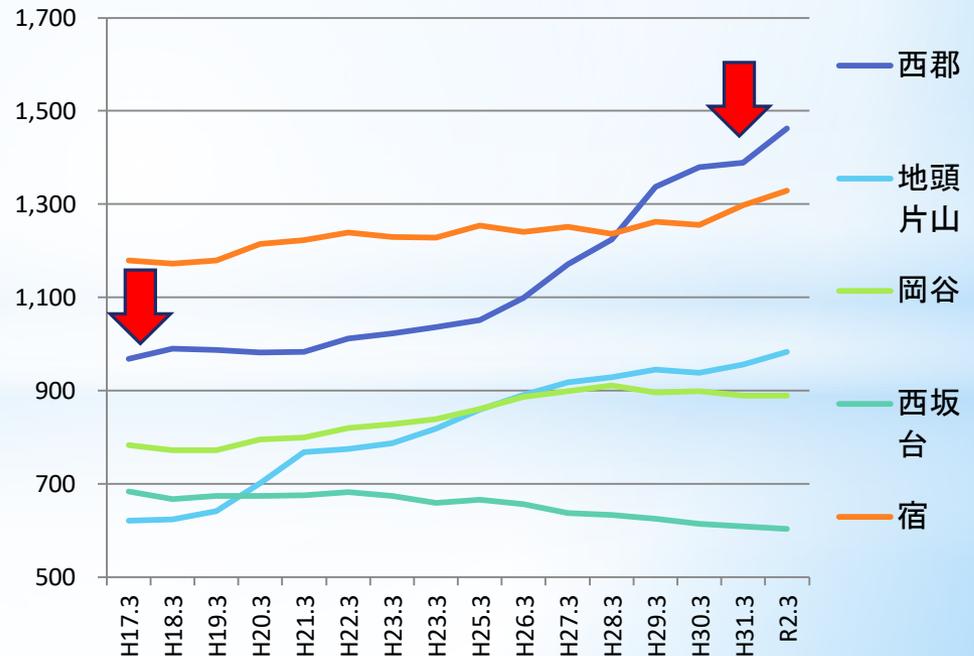
山手地区(西郡)

平成17年3月  
(総社市合併時)

4,273人(969人)

令和2年3月

5,268人(1,462人)



# 令和元年度 絆づくり推進事業

住民が急増する西郡地区で、地域の歴史や文化を継承し、安全で安心して暮らせる西郡をつくるための活動を行った。

(1) 防災の大切さを地域の皆様と一緒に考える場として「総社防災シンポジウム」を開催した。

(2) 自治会、公民館西郡分館、消防団など地域の諸団体と協働して、地域の危険箇所の調査・公表などを行い地域の安全と安心を確保する活動をおこなった。

(3) 絆塾ニュースの毎月発行や伝統行事の開催支援などを通じて、地域の歴史、伝統、くらしなどを新たに住居を定められた方々や若い世代に継承し、地域の一体感を高めた。

(4) 上記の活動を通じて、地域づくり・絆づくりに意欲ある新たな人材を発掘する努力を行った。

# 平成30年7月豪雨の発生

真備町、市内(下原・昭和地区)などで甚大な被害が発生



安全・安心 「晴れの国 岡山・総社」の印象が一変

# 被害状況の緊急調査を実施（平成30年9月号絆塾ニュース）



福山頂上東鳥居から下へ約30m  
山から崩れて道をふさいでいる

八畳岩横の道、岩横から崩れて  
道をふさいでいる。



頂上東の鳥居から下へ約20m、道の  
2/3が下の片山側へ崩れる。

北の幸山側から登り道が崩れ  
ている。



岡谷地区で発生した土砂崩れ



宿地区で発生した土砂崩れ

# 「西郡地区の防災を考える会」の発足（平成30年9月） 令和2年度からの自主防災組織発足をめざす

## 1 参加団体

自治会、消防団、土木委員、民生委員、福祉委員、子供会、シルバークラブ分館運営委員、絆塾など11団体の代表など17人が参加した。

地域内の災害発生危険箇所の事前調査、高齢者や避難弱者の方々の避難に向けた連絡体制や見守りの強化、事前把握の必要性などについて議論した。

## 2 第1回会議（9月29日（土）公正館）

### ①7月豪雨災害 総社市の被害の実態などについて

総社市消防署教養訓練係 主査 永野 男 氏から凄まじい災害のつめ跡や発生直後からの救助活動の実態をパネル写真も交えて説明を受けた。

### ②気象変化が与える災害発生への影響について

絆塾から、地球温暖化による気候変動が今までの防災インフラの想定を越えていること、また南海トラフ大地震で想定される影響について報告した。

## 3 第2回会議（12月22日（土）公正館）

水害とアルミ工場爆発事故に遭遇したにもかかわらず、1名の犠牲者を出すことなく全員避難を達成した下原地区の自主防災組織副本部長の川田一馬氏をお招きし、被災状況や自主防災組織の活動についてご講演をいただいた。

# 「総社防災シンポジウムの開催」

令和元年度 総社市市民提案型事業

## 総社防災シンポジウム 安全・安心の地域を創る

8月25日(日) 総社市山手公民館  
開会 13時30分～  
基調講演 13時50分～  
パネルディスカッション 15時15分～



主催 西郡地区の絆を推進する会  
共催 山手地域づくり協議会、西郡自治会  
後援 総社市、総社市社会福祉協議会  
協賛 農マル園芸 吉備路農園

真備町のお生まれで平成30年西日本豪雨災害に遭遇された高知県立大学大学院教授神原咲子先生(専門:災害看護学、総社高校ご出身)をお招きして災害時における健康支援活動についてご講演をいただきました。

また、洪水と爆発事故に遭遇したにもかかわらず1名の犠牲者を出すことなく住民全員の避難を達成した下原地区の自主防災組織川田一馬氏から避難訓練の重要性について、さらにその災害において多大な医療支援をいただいたAMDA理事 難波妙氏(山手在住)からAMDAの医療支援についてご講演をいただきました。

パネルディスカッションでは、講師の先生方とともに、総社市の防災関係者、地域防災を担う関係者の皆様と今後の地域の防災のあり方を探りました。

# 「総社防災シンポジウム」の開催

高知県立大学教授神原咲子先生による基調講演の後、地域の防災を担っている関係者によるパネルディスカッションを行い、地域住民、防災関係者など182名の方々に参加いただきました。



片岡市長  
今後の防災への取り組みについて



神原咲子先生  
「いまこそ考え直そう！！健康と生活と災害を」

# 基調講演

下原・砂古自主防災組織副本部長の川田一馬氏からは、犠牲者ゼロは奇跡ではなく日頃からの訓練のたまものであること、更に山手地区ご在住でAMDA理事の難波妙氏からは、市の災害対策本部と連携した様々な医療援助やAMDAの活動について講演いただきました。



川田一馬氏  
自主防災組織の取り組みについて



難波妙氏  
「AMDAの災害支援について」

# パネルディスカッション

地域の防災を担っている「そうじゃ防災士の会」や山手地区各自治会防災責任者、さらに総社市等の防災の強化にご尽力いただいている市関係（危機管理室、消防本部、社会福祉協議会）の皆様とともに開催し、フロアーからも数多くの質問が寄せられ、時間を30分間延長するほどの活発な討論が行われました。



# 防災展示

1階フロアでは、「おかやま Free Wi-Fi」を活用した防災サイトの検索、総社市の中・高校生のボランティア活動を紹介した「がんばろう総社」の放映、防災用品や被災状況の写真展示を行いました。



↑  
農マル園芸さんからご寄贈  
いただいた高  
解像度ディスプ  
レーが活躍し  
ました。



← 「がんばろう総社」の  
放映と防災用品の展示

# NHK クローズアップ現代プラス 新型コロナ、災害避難をどうする

高知県立大学 看護学部 神原咲子教授

「自分だけを守るのではなく、相手にうつさないために自分が先に消毒。ここ（避難所）のみんなが健康な生活を守るという気持ちが大事。」



2020年5月13日(水)放送

新型コロナと避難所 生き延びるための術は？

# 公正館における情報収集能力の充実



県大学生ボランティアの協力による  
子どもたちのインターネット学習



移動して使用できる  
Wi-Fi対応プリンタ

「歩数計リーダー」接続するために整備した無線LAN(Wi-Fi)を活用して、公正館でスマホ、タブレット等、PC等から様々な外部情報をリアルタイムに表示できる設備を整え、テレビ会議にも対応するなど、様々な行事や会議で活用しています。

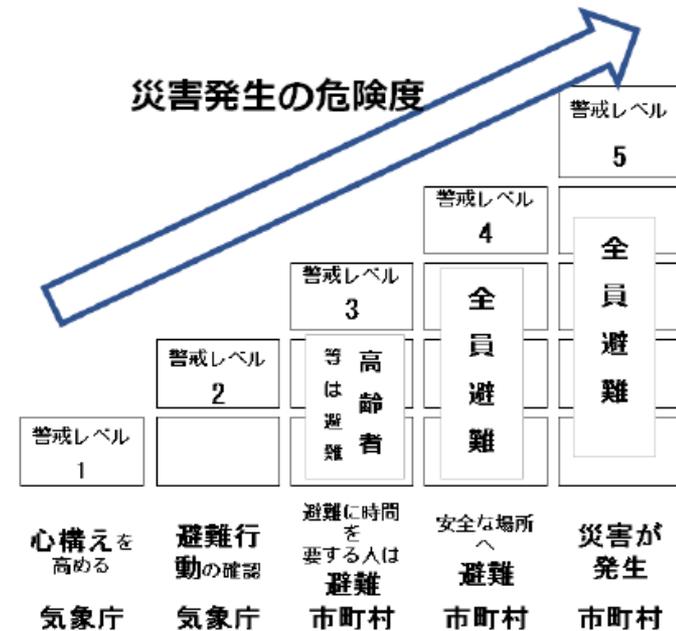
# 絆塾ニュースによる防災情報の周知

## 絆塾ニュース8月号

### 2 避難勧告等に関するガイドラインが改定されました。

平成 31 年 3 月 29 日で改定されたガイドラインでは、住民等が情報の意味を直感的に理解できるよう、防災情報を 5 段階の警戒レベルにより提供し、とるべき行動の対応を明確化しています（内閣府政府広報）。

- 【警戒レベル 1】 気象庁から「早期注意情報」が発令
  - 【警戒レベル 2】 大雨・洪水注意報」が発表される段階
  - 【警戒レベル 3】 高齢者等の避難が必要になる段階
  - 【警戒レベル 4】 全員の避難が必要となります。
  - 【警戒レベル 5】 命を守るための行動が必要になります。
- これが現在の避難指示等の指針となっています。



**絆塾ニュースは、地域の一体感を高め、情報の共有を図るため、自治会入会世帯にだけでなく全戸(約460世帯)に毎月届けています。**  
**絆塾の活動は、来年度から自治会の企画広報部、防災部に移管します。**

# 地域内危険箇所の調査 12月15日(日)

自治会、土木委員、消防団、絆塾幹事など13名が参加して「西郡地区内の危険箇所調査」を行い地区内の危険箇所を点検し、絆塾ニュースで地区内の皆様にお知らせしました。

## 危険箇所調査の概要と西郡周辺のため池の分布状況



西郡地区では、公正館、公民館、小学校、幼稚園などが避難所に指定されています。



溜池間を結ぶ用排水路



消火栓の点検

# 今後の防災活動の強化の方向

## ※連絡網の整備

### 要支援者名簿の作成

- ・避難行動要支援者名簿(市町村に作成義務)の活用
- ・高齢者・障がい者・乳幼児等の要配慮者の把握

### 安否確認方法の確立

## ※災害時における緊急伝達方法の改善

## ※自治会防災活動の強化

絆塾が担ってきた自主防災に係る活動を令和2年度から自治会防災部に移管し防災活動の強化を図る。

## ※地域防災計画の策定

総社市から要請されている地域防災計画の策定を自治会防災部が関係団体と連携して取り組む。

# 公正館への非常用機器の整備



広報用機器の更新



非常用発電機



スマホ等充電コーナー

行事開催などの住民広報は、軽トラに中古のカーステレオと外部スピーカーを設置して行ってきましたが、予めCDに音声データを記録する必要があり、緊急時の広報は使用できなかつたため、**マイクで直接広報**できる機器に更新しました。

また、**パソコンやスマホ等の電源として安全に使用できる非常用発電機**を整備し、更に**太陽電池パネルで動作するパソコン・スマホ用充電器**を公正館に設置し、ガソリンが入手できなくても最低限の情報を収集できる設備を避難所となる公正館に整備しました。

# 伝統行事の活性化と地域の歴史の記録

## 西郡盆踊り大会

日時 8月14日(水) 18:30~21:00  
場所 公正館広場 雨天決行



伝統の地踊りで、ご先祖様や今年の豪雨でお亡くなりになられた方々をご供養し、これからの西郡の安全と安心を祈りましょう。

大会は、皆様の篤志(御花)により運営されています。  
本年は、**花火の打ち上げ、様々なバザー**を行いますので、多くの皆様のご参加をお願いします。

主催 西郡地踊り保存会  
後援 西郡自治会、西郡地区の絆を推進する会  
協賛 アグリ元気岡山 農マル園芸 吉備路農園

西郡

## 子供みこし



10月13日(日)

9:15~12:30



主催: 西郡自治会、ひまわりの会、西郡シルバークラブ  
西郡子供会、西郡地区の絆を推進する会  
協賛: アグリ元気岡山 農マル園芸 吉備路農園

地域の皆さまのご協力を得て、伝統行事を継続や記録に努力してきました。

# 地域に残る貴重な映像のデジタル化

No	タイトル	媒体	制作	内容
1	吉備路の故郷を尋ねて	8mmf	1971	高谷翠石先生の秀作 8mm映画音声は無し
2	郷土の歴史	VHS	1973	地元民が創った自主制作作品（久保芳巳氏監修）
3	郷土の歴史 吉備路	VHS	不明	岡山県教育委員会制作（谷口澄夫監修）
4	山陽道	VHS	1987	岡山県教育委員会（昭和62年作成）
5	天満遺跡を訪ねて	8mmV	1988	天満遺跡発掘調査の記録
6	持坂より天満を臨む	VHS	1988	天満遺跡発掘調査の貴重な記録
7	福山関係	VHS	不明	福山に関する貴重な映像記録
8	天満遺跡発掘調査	VHS	1989	天満遺跡発掘調査の貴重な記録
9	山陽道の文化財	VHS	1989	岡山県教育工学研究会
10	幸山城から天満遺跡を見る	8mmV	1991	岡山県教育委員会が制作した山陽道の歴史
11	西郡地踊り	VHS	1997	地踊りに関する貴重な映像（テレビ瀬戸内）
12	山手村の歩み	CD-V	2005	山手村が閉村に際し、全戸に配布した記録
13	山手村閉村記念式	VHS	2005	山手村制116周年閉村記念式の記録
14	郷土学習教材 吉備路	VHS	不明	吉備路の歴史を紹介した秀作

**8mmフィルム、VHSテープ等で残されていた過去の貴重な映像を専門業者に委託してデジタル化し、地域の拠点である西郡公正館で公開し、地域の財産として活用します。**

# 「地域の最大の課題となっていた 福山共有地の自治会への移管と 自治会の地縁法人化の実現

地域の貴重な財産である福山共有地は、明治・大正時代の住民約150名の共有名義であり、管理を担ってきた西郡共有の会員の減少により管理が困難となり、所有権を自治会に移管し、管理を改善することが求められていました。しかし登記変更には膨大な人手と費用が予想されたため、放置されてきました。しかし平成27年4月1日に地方自治法が改正され、自治会が認可地縁団体になった場合には、不動産に係る登記の特例が適用され、共有地などを自治会に移管できることになり、西郡自治会では、下記の活動を行い共有地を自治会に移管し、長年地域に残されていた課題を解決しました。

## 1 西郡自治会と西郡共有の組織統合（平成30年4月総会）

地域住民の皆様の理解を得ることを目的に、自治会と共有を合併し、旧共有は自治会の財産管理部会として活動し、共有地の管理と今後のあり方について検討しました。

## 2 西郡自治会の地縁法人化（平成31年4月総会）

自治会員の皆様の賛成により、自治会の地縁法人化を実現できました。

また、共有地の管理態勢の改善と共有地への理解を深める活動を行いました。

## 3 共有地などの所有権の自治会移管が完了（令和2年3月）

旧西郡共有が管理していた共有地やゴミステーション用地などの所有権の自治会への移管が完了しました。

# 平成27年度から実施してきた 地域の絆づくり推進事業の概要

〔西郡地区の絆を推進する会〕(絆塾)は、平成27年度から「地域の歴史と伝統の次世代、新住民への継承」をメインテーマとして活動を開始しました。

この目標の実現に向けて行ってきた活動の主な成果を次ページから紹介しますので、是非ご評価ください。

## ※活動開始当初(平成27年度)に掲げたテーマ

- ①地域の歴史と伝統の次世代、新住民への継承
- ②住民が必要とする地域情報の提供  
(暮らしやすく、子供から高齢者まで安心して生活できる地域づくり)
- ③住民が地域を知る機会の提供(市民参加型事業の実施)
- ④将来の地域活動を担う人材の育成

平成27年度

## 防災講演会の開催（平成27年8月、山手公民館）

広島土砂災害をテーマに、岡山理科大学教授 野上 祐作 氏を座長に、京都大学名誉教授 奥田 節夫 氏、岡山大学大学院教授 西村 伸一 氏、岡山県立大学講師 齋藤 美絵子 氏の講演の後、総社市危機管理室長 小池 初男 氏、消防本部警防課長 上野 伸司 氏が参加した白熱したパネルディスカッションが行われました。



320名を  
超える地域の  
皆さまに  
参加いただき  
ました。

平成27年度

# 「西郡地区の歴史とくらし」の発刊

宅地化の進展で人口増加が続く総社市西部の住民組織「西郡地区の絆を推進する会」は、郷土史や城元の伝統行事を分かりやすくまとめた冊子「西郡の歴史とくらし」を発刊、地区の全約390世帯に配布した。今後移り住んでくる住民にも配り、地域を知ってもらうことに役立てる。（氏直弘）

史とくらし」を発刊、地区の全約390世帯に配布した。今後移り住んでくる住民にも配り、地域を知ってもらうことに役立てる。（氏直弘）

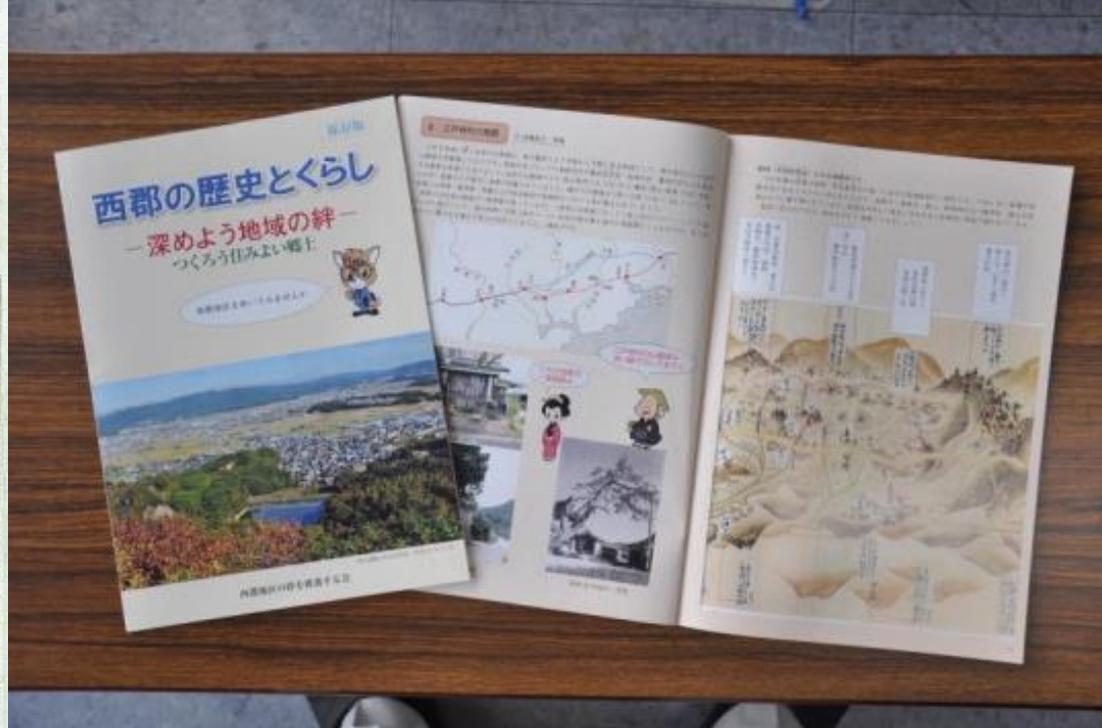
## 地域の歴史、行事知って



「西郡地区の絆を推進する会」が発刊した冊子



**総社・西郡地区「絆を推進する会」**  
西郡地区は旧川上村へのアクセスが良い。人口は2005年3月現在の約1万5000人から、昨年度は1万6000人増加。昨年12月に「西郡地区の絆を推進する会」が発刊した冊子「西郡の歴史とくらし」は、郷土史や城元の伝統行事を分かりやすくまとめた冊子。冊子はA4判、22頁。北朝時代の早記物語「足利三代記」に記され、足利三代が新田義興と戦った山陽城跡を背景に、江戸時代には山陽道の整備に伴って設置された「星原の陣」を題材とした。星原の陣を題材とした「星原の陣」を題材とした。星原の陣を題材とした。



## 冊子発刊、全世帯に配布

毎年開かれる「子どもまつり」も華納相違、先祖の墓や山陽城跡の世襲のため行われる盆踊り「地踊り」も、子どもも参加している。冊子は市の市民協会の協力を得て、冊子の発行に協力した。冊子の発行に協力した。冊子の発行に協力した。

山陽新聞(平成28年1月13日)  
倉敷・総社版  
地域の皆様の理解(地域情報の発信)

平成28年度

# 西郡地区の交流の促進

## ホームページ(<http://kizunazyuku.jp>)の開設

ホームページを作製し、若い人たちへの  
情報交換手段として活用し、地域活動への参加を促進できないか？

西郡地区の絆を推進する会



● ホーム

HOME

ようこそ西郡地区へ

西郡地区について

西郡地区の絆を推進する会  
(絆塾)について

西郡のくらしと歴史(歴史編)の紹介

平成28年度

# 防災講習会の開催

(平成28年8月、西郡公正館)

総社市危機管理室と総社市消防署の協力を得て、防災講習会を開催しました。

- ①身近に感じはじめた気候変動の影響や災害について(西郡地区の絆を推進する会)
- ②総社市の危機管理対策と西郡地区の課題(総社市総務部危機管理室)
- ③総社市危機管理室と住民代表との意見交換
- ④救急法等(救急処置法、心肺蘇生法、AED)講習と初期消火(総社市消防署)
- ⑤「振り込め詐欺」などの被害にあわないためには(総社警察署山手駐在所)



平成29年度

## くらし編の発刊

宅地開発により人口が急増する西郡地区において、新しく転入された方々に地域になじんでいただくため必要があった。そのためには、自治会に入会していただき、**地域の人たちと一緒に活動**していただくことが重要と考えました。

**まず一歩として**、自治会の活動や地域で開催される**様々な行事を知っていただく**ことを目的に、自治会からのお知らせ（現在の絆塾ニュースの原型）の不定期発刊、ゴミステーション掲示板の充実、ポスター掲示やチラシの全戸配布などを開始しました。

これらの成果を基礎に、町内会区分図、交通網、ハザードマップなどの防災情報、近隣の医療機関、自治会や公民館西郡分館の活動などを紹介した「くらし編」を発刊し、地域のガイドンスとして活用しています。

平成29年度 絆社市民提案型事業

## 西郡の歴史とくらし [くらし編]



## 私たちの西郡

# 笑って健康教室の開催

## 笑って健康教室

参加  
無料

～笑いが健康に良いことが知られています。  
笑いが楽しめる健康教室に参加しませんか～



楽しく笑って過ごすことが、健康に良いことがわかってきました。笑いが健康に及ぼす効果について、江口先生から明るく楽しいお話をいただきます。よく笑っている人は糖尿病や認知症になりにくいことなど、興味深い話題が盛りだくさんの講演をいただきます。講演の後には、インストラクターの皆様と一緒に楽しい「笑いヨガ」を体験ができます。

講演：岡山大学医学部大学院 助教 江口 依里 先生(公衆衛生学)  
体験：講演後、笑いヨガをインストラクターの皆様と一緒に楽しめます。  
場所：山手公民館多目的ホール(先着216名)  
同時開催の山手公民館文化祭も是非ご参加ください。  
日時：10月29日(日) 午前10時～12時

主催：西郡地区の絆を推進する会 (URL: <http://kizunazyuku.jp/>)  
山手公民館西郡分館、西郡自治会、山手地域づくり協議会  
共催：山手公民館  
後援：総社市、総社市社会福祉協議会  
協賛：アグリ元気岡山 農マル園芸 吉備路農園

☆参加ご希望の方は、下記までお問い合わせください。

劍持 聖志：090-8714-5037 (k\_kennotsu@kizunazyuku.jp) 新谷 修：080-2892-9988  
板野 誠：0866-93-6499 劍持 郁夫：080-1922-5459 山手公民館：0866-93-1241



楽しく笑って過ごすことが、健康に良いことがわかってきました。笑いが健康に及ぼす効果について、江口先生から明るく楽しいお話をいただくとともに、参加者全員で「笑いヨガ」体験しました。

平成30年度

# 住民の交流、情報伝達体制の充実

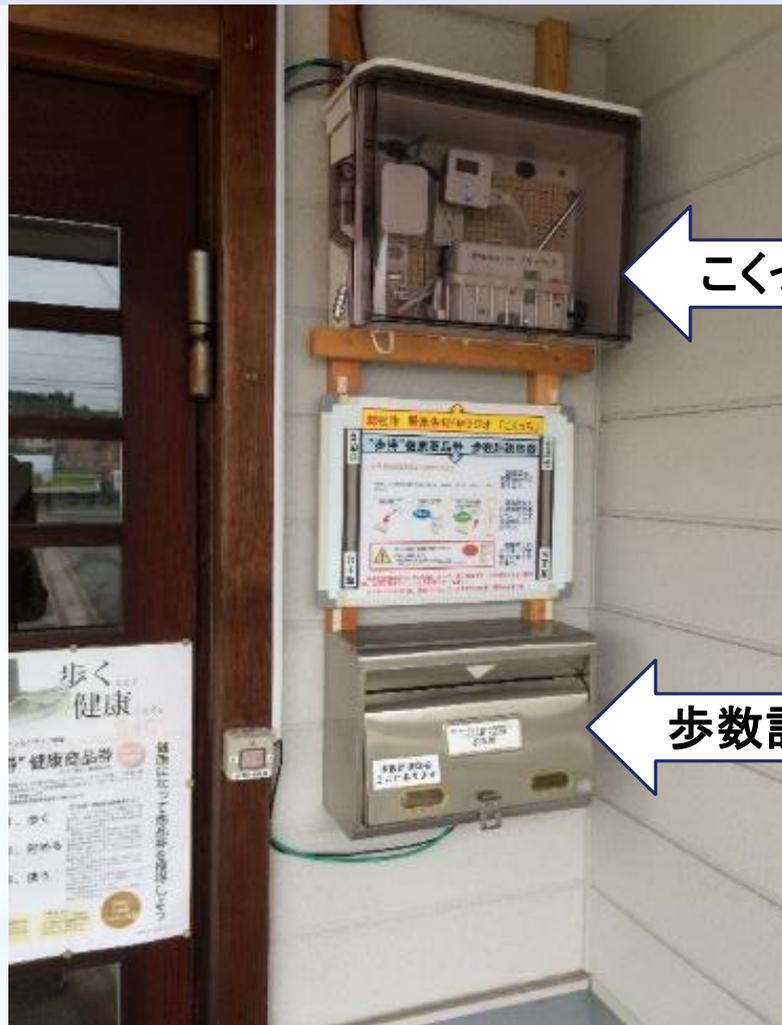
プロジェクター



共用パソコン



こくっち



歩数計

公正館玄関には、緊急放送用ラジオ「こくっち」と歩数計リーダーを設置しました。整備したWi-Fi、テレビ会議に対応した共用パソコン、大画面で放映できるプロジェクターなどを活用して、様々なイベントや会議で情報の共有と交流に役立っています。

平成30年度

# 救急講演会の開催

(平成30年11月、西郡公正館)

平成30年度は、西郡にお住まいで救急医学や小児救急の専門医である岡山大学病院 高度救命救急センター 助教 塚原 紘平 先生をお招きし、小児救急に関する講演をお願いするとともに、総社市消防署救急隊員の皆様から救急処置法の講習をいただきました。

総社市市民提案型事業

絆塾

## 救急講演会

日時 11月10日(土) 13:30~15:30

場所 西部分館(公正館) 入場無料

### 1 講演 「こどもと救急」

講師 塚原 紘平  
(岡山大学病院 救命救急災害医学講座 助教)



### 2 講習 救急処置法、心肺蘇生法、AED等

講師 総社市消防署 救急係



☆申込み締切り 11月 3日(土)まで

☆参加申込み  
市広報に添付の参加申込み書を  
西部分館(公正館)郵便ポストに入れる  
又は担当者の郵便ポストに入れるか  
電話をお願いします。

☆担当者  
板野 誠(下2) 31-6944  
酒井 浩恵(下5) 31-7627  
濱戸 久美子(下9) 31-7797  
御持 聖志(下1) 090-8714-5037  
御持 郁夫(下2) 080-1922-5459



主催 西郡地区の絆を推進する会、山手公民館西部分館、西郡自治会  
後援 総社市、総社市消防本部 協賛 アグリ元気岡山 農マル園芸吉備路農園

## 岡山大学病院 高度救命救急センター



## 救急処置講習会



平成30年度

# 健康講演会の開催

(平成30年12月、西郡公正館)

山手地区の医療を支えていただいています岡先生に循環器疾患についてご講演をいただきました。更に総社市が推進している“歩得”健康商品券事業や地域防災に対する西郡地区の取り組み状況についても報告いただきました。

## 絆塾 健康講演会

日時 12月9日(日) 13:30~15:30  
場所 公正館(西郡分館) 入場無料



講演  
狭心症と心筋梗塞のお話  
血管を鍛えて予防しましょう  
岡ハートクリニック院長  
岡直樹先生

◆ 総社市の健康推進事業について  
総社市健康医療課

◆ 7月豪雨災害と西郡の取り組みについて  
公正館には、歩数計カードリーダー、防災ラジオこくち、Free Wi-Fiなどが設置されています。



☆ 参加申込み書を公正館の郵便ポストに入れるか、下記担当者の郵便箱又は電話でご連絡ください。先着100名  
劔持 堅志(下1) 090-8714-5037 新谷 修(新1) 080-2892-9988  
劔持 郁夫(下2) 080-1922-5459 風早 恵(新1) 090-6435-2014  
劔持 亨(新3) 92-5850 酒井 浩恵(下5) 31-7627 板野 誠(下2) 31-6944  
主催: 西郡地区の絆を推進する会、山手公民館西郡分館、西郡自治会  
後援: 総社市、総社市社会福祉協議会  
協賛: アグリ元気岡山 農マル園芸 吉備路農園



新しい健康インセンティブ事業

あるとく  
“歩得”健康商品券 来年1月受付開始  
(歩いて獲得!健康商品券)

来年度から、健康づくりに取り組む人をサポートしていくために、「歩得」健康商品券事業を始めます。この事業開始に合わせて、ウォーキングコースとランニングコースも整備します。

問い合わせ 健康医療課健康推進係 ☎ 8259



1、歩く

“歩得”健康商品券事業とは?

「歩く」ことを中心とした健康づくり施策です。歩数に応じたポイントを貯め、貯まったポイントを市内で使える商品券と交換することができます。

歩数は、市が発し出す活動量計などを付けて計測。市内約20カ所に設置した専用の端末に活動量計をかざすことで歩数が記録されます。端末と一緒に設置しているタブレットで、貯まったポイントや歩数などを確認できます。

そのほか、健康診査の受診、健康づくり講座などに参加することでポイントを獲得することができます。

また、健康づくりに関する情報やアドバイスを市のメールマガジンで配信し、生活習慣の改善をサポートします。

生活習慣改善のきっかけに、この事業に参加してみませんか。



2、貯める



3、使う

◆ Point 1 ◆  
歩いた記録や貯まったポイントは、タブレットで確認することができます。

◆ Point 2 ◆  
オペレーターの栄養士が、個々に生活習慣の改善をサポート。市からのメールマガジンでアドバイス。

詳細は  
広報紙  
1月号に掲載

健康になつて商品券を獲得しよう